

モーツァルト・ヴィルトゥオーゾ

Mozart

Virtuoso

Festiva

Orchestra

祝祭管弦楽団 第78回 定期演奏会

紀尾井ホール

2023.3.24 金

開演18:30(開場17:45) 全席自由 ¥5,000
18:30 p.m. Friday, March 24 At Kioi Hall

CONDUCTOR:
Mitsuyoshi Oikawa
及川光悦 指揮

PIANIST:
Etsuko Terada
ピアノ 寺田悦子

◆モーツァルト作曲：ピアノ協奏曲 第20番 ニ短調 K.466
MOZART: PIANO CONCERTO NO.20 IN D MINOR, K.466

INTERMISSION

◆ハイドン作曲：交響曲 第94番 ト長調 Hob.I:94 《驚愕》
HAYDN: SYMPHONY No.94 IN G MAJOR, Hob.I:94 "SURPRISE"

PROGRAM

お問い合わせ・チケット申し込み

日本音楽文化交流協会 TEL / FAX 03-3442-2325

Photo: 堀江 敦明

主催：国際親善交流特別演奏会実行委員会 日本音楽文化交流協会 日本・ポーランド協会

後援：文化庁・厚生労働省・国際交流基金・日本赤十字社・朝日新聞社

特別協賛：meiji 株式会社 明治

協賛：三井住友信託銀行

協力：サッポロビール株式会社・メルジャン株式会社

※出演者・曲目等が変更される場合がありますのであらかじめご承知おき下さい。
※喫煙者、養育施設、母子家庭、大震災避難者、医療従事者の方々を割引致します。
※未就学児のご入場はご遠慮下さい。

※本公演は、新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドラインにそって、実施を致します。※体調不良の際は、ご来場をお控え下さい。※ご来場、ご鑑賞時等ホール内では必ずマスクをご着用下さい。

M.V.F.O

Mozart
Virtuoso
Festival
Orchestra

モーツァルト・ヴィルトゥオーゾ 祝祭管弦楽団第78回定期演奏会

及川光悦 指揮 CONDUCTOR: Mitsuyoshi Oikawa

1949年、北海道に生まれる。

5歳よりピアノを学び、10歳の時、テレビ出演の機会に音楽家を志す。

1967年、東京音楽大学器楽科、桐朋学園指揮教室入学。

1975年8月、フランス・ニース国立音楽院主催国際指揮講習会を受け好評を博す。

1975年10月、研究科在学中に推薦されパリ留学。

エコール・ノルマル音楽院にてビエール・デルポー氏に師事、スコラ・カントルム音楽院指揮科・ピアノ科入学。

1976年、ザルツブルグ・モーツァルト音楽院主催の国際指揮講習会を受けオトマール・スイトナー氏に師事、大いに才能を認められる。

1977年帰国、故郷城宏之氏に認められ札幌交響楽団において研鑽、数多くの演奏会に出演する。

1978年、小澤征爾氏に師事。同年「札幌市芸術文化振興基金第1号」を受けアメリカ留学、小澤征爾氏のもとで研鑽を積む。

1982年、「芸術家在外研修員」として文化庁によりミュンヘンへ派遣される。受入れ先であるクーベリックのバイエルン放送交響楽団、テレビダッケのミュンヘン・フィルハーモニー管弦楽団、サバリッシュのバイエルン国立歌劇場管弦楽団にて各氏に師事、伝統的なドイツ音楽を吸収する。又ベルリン・フィル、ミラノスカラ座、パリオペラ座、バイロイト音楽祭、ベローナ音楽祭、ザルツブルグ音楽祭のリハーサル・本番・レコーディングに立ち会い研鑽を積む。

1983年8月帰国、ただちに東響でデビュー、都響、札幌、京響、新島日響、群響、神奈川フィルで共演、放送・レコーディングで活躍。

1986年7月、日中文化交流の一端として中国から招待され、中国電影楽団、上海楽団と共演、交響組曲「東京」～「こもりうた・外山雄三作曲」の海外初演をはたし熱烈な歓迎を受ける。帰国後、日本テレビ「11・PM」、FM東京「世界の音楽をあなたに」出演、中国音楽界を紹介する。

1987年9月・10月、前年に引き続き中国より招待され、日本政府(外務省)・国際交流基金の援助のもとで中国電影楽団、上海電影楽団と共演して絶賛を博し、両楽団より「常任客演指揮者」の称号を贈られ両国の文化交流に大きな役割を果たす。帰国後、FM東京「音楽の森」出演。

1988年9月、中国電影楽団、上海電影楽団日中平和友好締結10周年記念・常任客演指揮者就任記念として、日本政府(外務省)・国際交流基金の援助のもと「文化使節」として公演し好評を博す。FM東京「モーニングジャーナル」・FMジャパン「Jウェーブキャットフィッシュ」出演。

1990年6月、チェコ・スロバキア(ズリーン) マルティヌーフィルハーモニー管弦楽団にてヨーロッパ楽壇デビュー、11月、中国(北京)中国電影楽団にて故郷田高弘氏と演奏会開催。12月、ソ連「チャイコフスキー交響楽団(旧モスクワ放送交響楽団)」、ウクライナ国立フィルハーモニーオーケストラ(キエフ)、ヤロスラブリ フィルハーモニーオーケストラにて演奏会開催。

1992年9月、中国(北京)・中国電影楽団にて日中文化交流20周年記念特別演奏会を開催。10月、日本政府(外務省)・国際交流基金・ポーランド政府文化芸術省の援助のもとでポーランド・カトビツェ国立交響楽団と演奏会開催。

1993年3月、現在世界で屈指のヴィルトゥオーゾ集団である「ロシア・ナショナル管弦楽団」にてロシアピアノ界の巨匠であるニコライ・ペトロフ氏と共演、ウリヤノフスク国立交響楽団と演奏会開催好評を博し日本・ロシアの文化交流に尽力。12月、ハンガリー文化教育省の後援のもとでフランツ・リスト音楽院大ホールにてセント・

ステファン交響楽団と共演。

1994年10月、日本政府(外務省)・国際交流基金の援助のもとで前年に引き続きハンガリー・サント・ステファン交響楽団と共演。ルーマニア文化省の後援のもとでヨーロッパの中でも長い伝統を誇る名門オーケストラ「ジョルジュ・エネスク・フィルハーモニー管弦楽団」と共演し、日本・ハンガリー・ルーマニアの文化交流、両国音楽家間の親善に大きく寄与。

1996年2月、ハンガリー・ドナウシンフォニックオーケストラと共演。

1997年2月、日本政府(外務省)・国際交流基金の援助のもとでハンガリー・ソルノク シンフォニックオーケストラ、3月、ロシア名門オーケストラである「モスクワ・フィルハーモニー交響楽団」と共演し好評を博す。10月、名門オーケストラである「ブルガリア国立ソフィア交響楽団」と共演。帰国後テレビ朝日「徹子の部屋」に出演。1998年4月、ポーランド・アルトゥール・ルービンシュタイン・フィルハーモニックオーケストラと共演。

1999年10月、日本・ブルガリア文化月間10周年記念・国交回復40周年記念公演に招聘され「文化使節」として名門オーケストラである「ブルガリア国立放送交響楽団」と共演。

2000年、「文化庁舞台芸術創作奨励賞選考委員」就任。

2001年5月、名門オーケストラである「サンクトペテルブルグ交響楽団」(旧レニングラード交響楽団)と共演。

2002年6月、ブルガリア国立ソフィア交響楽団、ルーマニア「コンスタンツァ交響楽団・ガラツ交響楽団」と共演し大成功を収める。2002年10月、日本・ブルガリア文化月間に招聘され、「文化使節」としてブルガリア国立ソフィア交響楽団にてヴァイオリニストの天演教子女史と共演。

2004年4月、ブルガリア国立ソフィア交響楽団と共演、大成功を収め「常任客演指揮者」に就任。

2005年5月、ブルガリア国立ソフィア交響楽団と共演。

2006年6月、ブルガリア国立ソフィア交響楽団と共演。

2009年11月、ブルガリア文化の発展と普及への功績に対して、ブルガリア共和国文化省より「名誉表彰状」と「名誉章」を授与される。

2010年10月、ポーランド・トルン交響楽団と共演、ベルギー(ブリュッセル)にてトルン交響楽団と共演。

2011年10月、ポーランド(ピゴドシチ) ポメラニアン・パデレフスキー国立交響楽団と共演。ベルギー(ブリュッセル)にてポーランドEU議長国就任記念コンサートに招聘されポーランド・ポメラニアン・パデレフスキー国立交響楽団と共演。

2013年1月～2月、豊島区制施行80周年記念に対して「感謝状」と「豊島区文化功労表彰」を授与される。

10月～11月、社会福祉法人「東京都社会福祉協議会」社会福祉法人「横浜市社会福祉協議会」より永きに亘る福祉活動により「感謝状」を授与。東欧音楽家支援20周年記念として札幌市から「感謝状」を授与する。

2014年7月、ルーマニア政府・トラヤン・バセスク大統領より「文化功績勲章」を受章。

2019年3月、ブルガリア-日本両国関係発展に対して、ブルガリア共和国政府・外務省より名誉表彰勲章「Golden Laurel Branch(金の月桂樹)」最高位を受賞。

2019年10月、ポーランド共和国文化国家遺産大臣より文化功労勲章「グロリア・アルティス」を受章。

ピアノ: 寺田悦子 PIANIST: Etsuko Terada

村田節子、近藤幸子、田村宏の各氏に師事し16歳でウィーン音楽大学に留学。在学中に東京でオールショパンプログラムによるデビュー・リサイタルを開いて以来、企画性に富んだソロ・リサイタルや渡邊規久雄とのデュオ・コンサートを通して、透明感のある音色と豊かな情感で聴衆を魅了してきました。ウィーン音大卒業後は、ジュリアード音楽院大学院、インディアナ大学ほかで研鑽を積み、ルービンシュタイン自身が審査した1977年第2回ルービンシュタイン国際ピアノ・コンクール第3位金賞、1978年第6回リーズ国際ピアノ・コンクール入賞、日本ショパン協会賞、飛騨吉川音楽賞などを受賞。東京・名古屋・大阪等国内各地でのリサイタルやN響をはじめとする日本の主要オーケストラとの共演、「ブラハの春」などの国際音楽祭出演、イスラエル・フィル、ヘルシンキ・フィル、ドレスデン・フィル、北BBC交響楽団他数多くの海外オーケストラとの共演、英国、ドイツ、フィンランド、ロシア、ラトヴィア、アメリカ、メキシコ、パナマ、ペルーでのソロ・リサイタル、

ニューヨークのカーネギーホールでの演奏など国際的な活動を展開、近年はモーツァルトのソナタ全曲演奏やショパンとシューマンの生誕200年記念連続演奏会シリーズ、同じ「雨」の作品で一晩の演奏会を構成する「雨の秘密」シリーズなど活躍を続けています。

日本音楽コンクール、東京音楽コンクール、全日本学生音楽コンクール全国大会等数多くのコンクール審査員を務め、ドイツやオーストリアで演奏とマスタークラスを行うなど、後進の指導にも積極的にあたっています。CDにショパン作品集「ノアンI」「ノアンII」、渡邊規久雄とのデュオ・ピアノ「春の祭典&ラファマニョフ」(レコード芸術特選盤)などがあります。